

「読書活動」「読書意欲向上」の支援に活躍！

宇陀市立菟田野小学校

取組内容・特色等

主な取組

- ・市立図書館司書が委員会活動時に来校
- ・地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ
- ・おすすめの本紹介カードの交流
- ・学校図書館と学級文庫の展示の工夫

など

図書館司書が月1回の委員会時に来校

- ・学校図書館レイアウトのアドバイス
- ・図書室宅急便の選書支援
- ・「司書おすすめの本」コーナー設置
- ・ポップの書き方コツの紹介
- ・本の修理 など



教員とは違った視点での専門家ならではの司書のアドバイスが、図書委員には新鮮でいい影響を与えた

学校図書館の工夫 →

- ・面展台の活用
- ・〇〇コーナーの設置
季節の本、シリーズもの、教科書に載っている本
- ・おすすめの本カードの掲示



↑学級での工夫

- ・朝昼の読書タイム
- ・週1回のクラス貸し出し
- ・おすすめの本カードの掲示・交流
- ・面展台等を使った学級文庫の配置



絵本の読み聞かせ

- ・地域ボランティア「お話玉手箱」によるお話祭り
- ・教員によるお話フェスティバル

児童の知っている近所の方が読んでくれることで、親しみをもって集中して聞いていた

課題・今後の方向性

- ・図書館司書の来校回数と授業時の在室が増えれば、児童との関わりがもっと増え、読書活動の活性化につながる。市内他校との情報交換も活発になり、より充実した学校図書館になると考える。
- ・今後も、学校図書館の配架の工夫や図書館の利用啓発ポスター、本の紹介などの活動を積極的に行い、親しみやすい学校図書館の環境づくりを目指す。

令和3年度

学校図書館の振興に向けた調査研究

～菟田野小「読書推進」大作戦～

宇陀市立菟田野小学校

杉本政博

1 はじめに 学校の概要

平成18年、3町1村が合併して「宇陀市」が誕生する
旧菟田野町内の3小学校が統合して、
「菟田野小学校」となる

宇陀市の南部に位置

北側に古墳
東側に学校林

全校142名



2 研究推進にあたって

- ・校内研究テーマ

「自ら学びに向かい、自分の思いや考えを広げる児童の育成
～読解力を育てるための学習活動の創造～」

国語科 「読むこと」の力をつける
読解力向上には、
読書の質や量の向上が要素の一つ

→読書活動の推進

3 取組の概要

- ソフト面（児童の活動等）
- ハード面（学校図書館や学級の
読書環境の整備）
- 外部団体からの協力
- その他

児童の活動 読書機会の確保①

- ・朝昼の読書タイムの設定



児童の活動 読書機会の確保②



- ・ 週1回のクラス貸し出し




児童の活動

読書機会の確保③

- ・ 読書記録証…
読書のあしあと

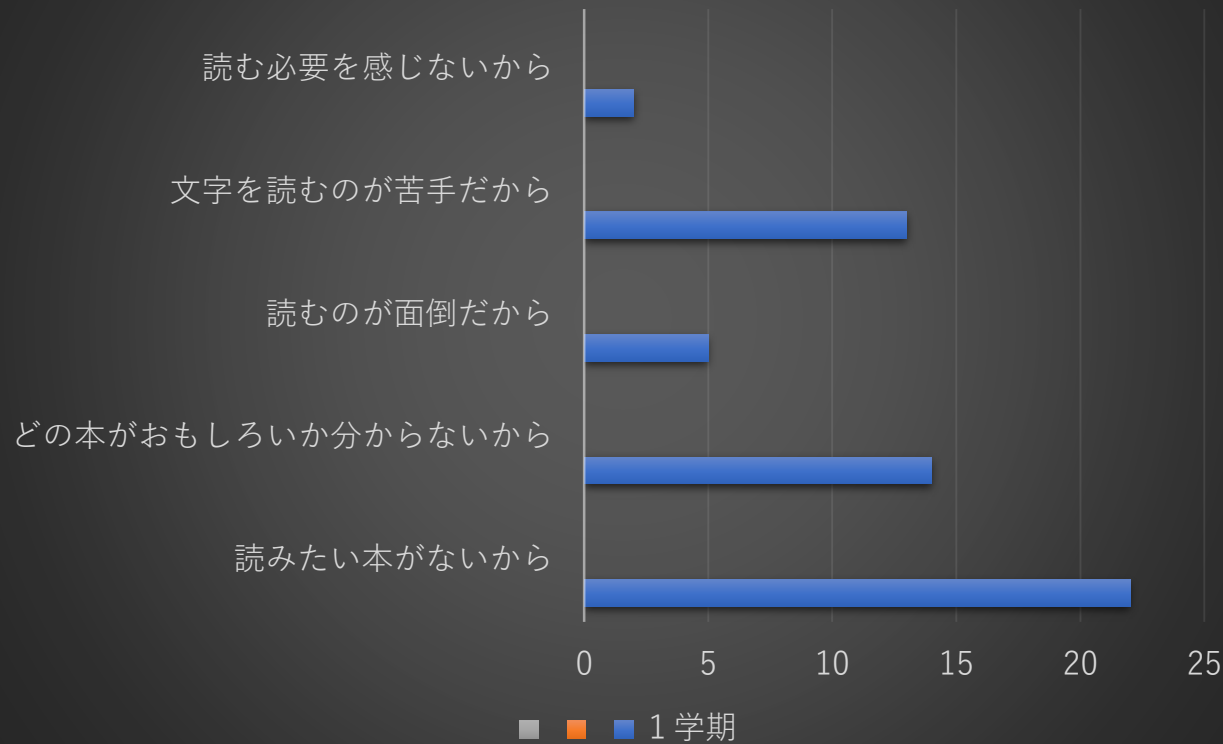
 ^{どくしょ} 読書にチャレンジ 

	題名	作者	読んだ日	おすすめ度
1	おとろのたからEの	こてまりい	12/14	★★★★★
2	ふしぎなキャンデー	みやはしにこ	12/21	★★★★★
3	100かいだてのいえ	いらいとあ	1/17	★★★★★
4	2年のはみEの	小川 きよし	1/21	★★★★★
5	わたれんない おくりもの	小川 仁央	1/21	★★★★★
6	さとし 3冊	福田	1/21	★★★★★
7	かんてきなこと	三にかのえる作	1/31	★★★★★
8	ふとあすれないよ。	わんにすずこ	2/7	★★★★★
9	おまぎちゃん	やぎたみこ	2/8	★★★★★
10	うちゅう人がいた	やまだとく	2/8	★★★★★

 33

読書アンケート（1学期）より

読まない理由



「本を読まない主な理由」



- 「読みたい本がない」
- 「どの本がおもしろいか分からない」
- 「文字を読むのが苦手」

児童の活動

「読みたい本がない」①

- ・ 図書館宅急便
図書館委員会が
月10冊を
学校図書館から
学級文庫へ
(毎月入れ替え)



児童の活動 読みたい本がない②

- ・市立図書館より本の団体貸し出し
(月10冊+αを
学級文庫へ)



児童の活動

「どの本がおもしろいか分からない」①

おすすめの本の
紹介カードの
掲示・交流
(学級・係活動)



「どの本がおもしろいか分からない」②

- ・ 大人のおすすめの本コーナー



児童の活動 「文字を読むのが苦手」①

- ・読み聞かせ（教員、上学年→下学年）



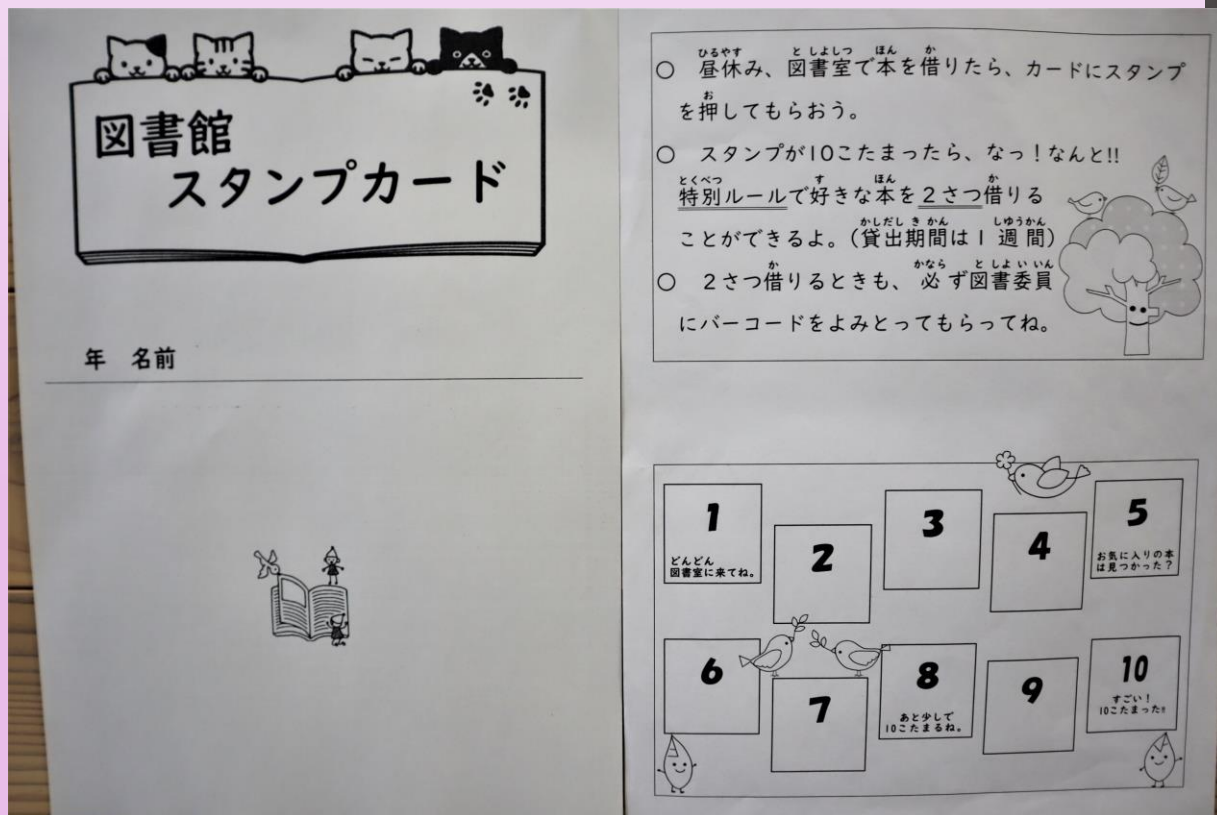
児童の活動 「文字を読むのが苦手」②

- ・読み聞かせ（図書委員会・図書係）



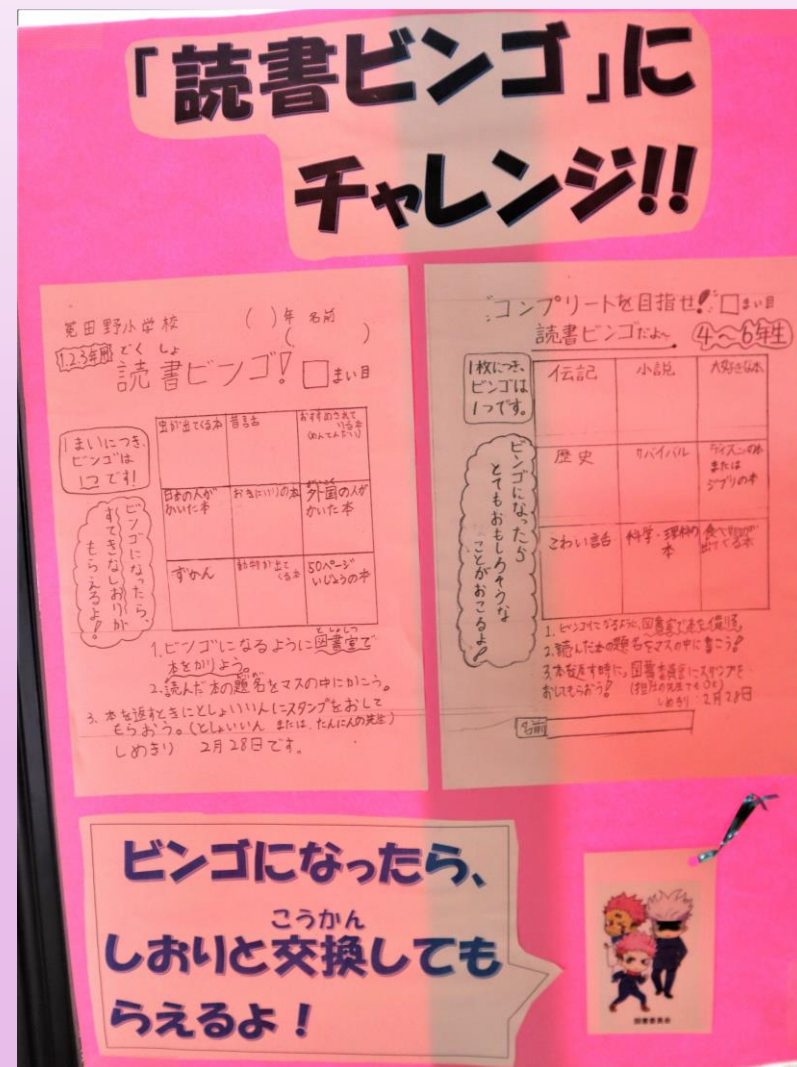
児童の活動 「読みたくなる工夫」③

・スタンプカード



児童の活動 「読みたいくなる工夫」④

・読書ビンゴ



児童の活動

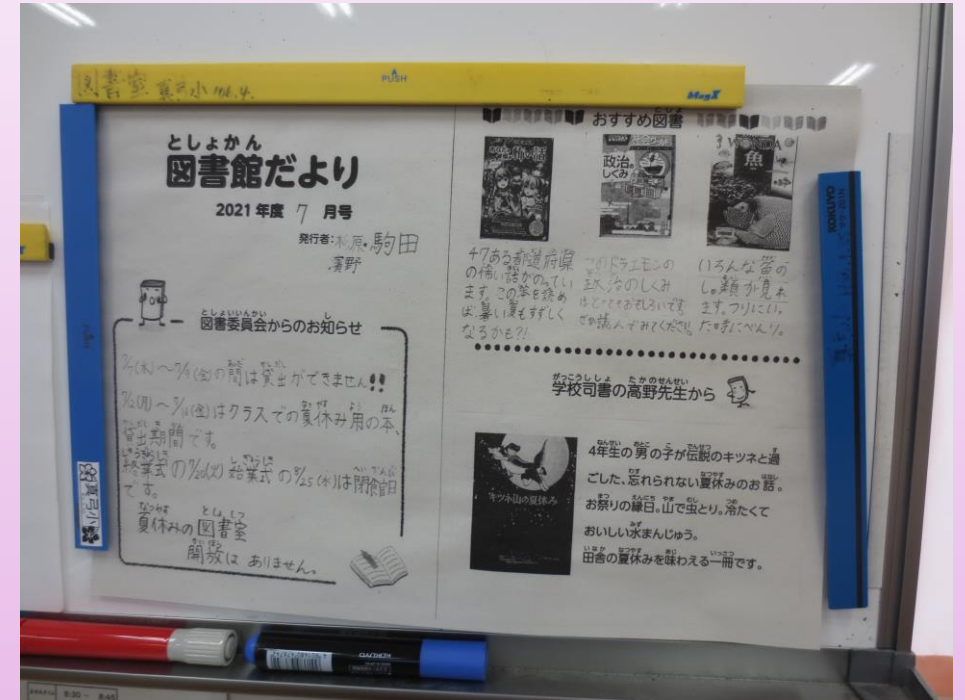
その他

- ・ 課題図書オンライン紹介
- ・ ポップ作り

- ・ 放送委員による本の読み聞かせ

先進校視察（生駒市立真弓小学校）

- ・ 学校図書館の見学
- ・ 司書さんから



学校図書館① 本の展示の工夫！

- ・ 季節のコーナー



学校図書館① 本の展示の工夫 2

- ・学年のコーナー



学校図書館① 本の展示の工夫 4

・おすすめの本



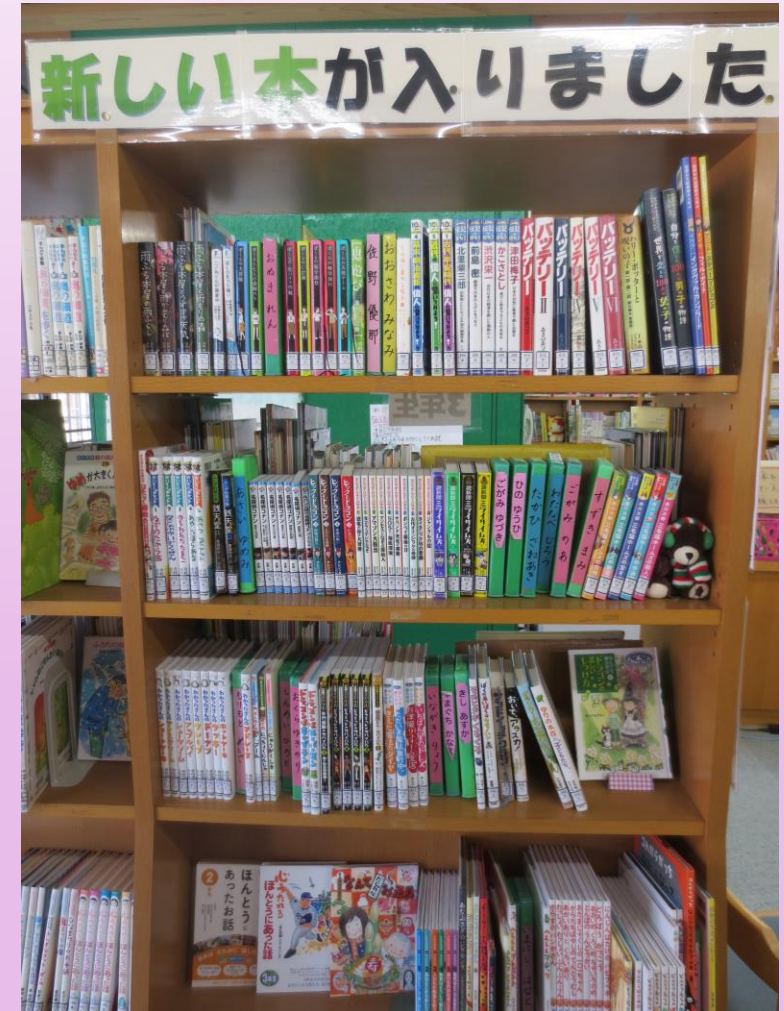
学校図書館① 本の展示の工夫5

- ・ 大人のおすすめの本コーナー



学校図書館① 本の展示の工夫6

- ・ 十進分類
- ・ 新刊コーナー



学校図書館①

・本の置き方

本の展示の工夫⑦



学校図書館② 読書空間づくり



外部団体協力① 図書館司書 |

- ・ 図書館宅急便の本の選書支援



外部団体協力①

図書館司書 2

- ・ 司書おすすめの
本コーナー
- ・ ポップの書き方
コツ紹介
- ・ 本の修理



外部団体協力② 市立図書館

- ・本の団体貸し出しと紹介



外部団体協力③ お話玉手箱

- ・学期に1回の読み聞かせ

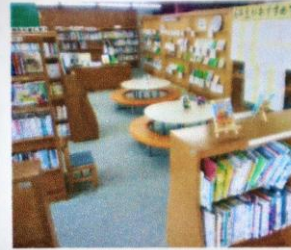


その他 学校通信 「読書の ススメ」

受け売りですが…読書のススメ(2)

7月に「読書のススメ」を掲載しました。今回は第2弾です。

「一般に若い頃に旺盛だった読書熱というものを、年をとっても持ち続けている人はまことに少ない」と批評家の小林秀雄氏は述べています。



(小学校の図書室)

本を読む暇がなくなったことは、誰でもが付きます。だが、本を読もうとする心がなくなったことに、人は気付かない、と氏は言います。だからこそ、「自ら進んで読み方の夫をしなければならぬ」と。

現代は“夜がなくなった”といわれます。携帯やパソコン、ゲームなど、夜の時間を費できるものが幾つもあります。子どもたちの周囲に娯楽があふれる時代だからこそ、人が読書の喜びを伝え、率先して本に触れることが大切だと思います。

「栄養を与えるほど、木は大きく育つ。じょうに、魂にも『滋養』を与えることである。そのためには読書である」と、ある方が語っていました。未来っ子と共に、良き挑む秋としたいものです。

いっしょによもう いっぱいよもう (子ども読書週間)

ある新聞に、読書量が群を抜く中学校に赴任した教員の話が載っていました。そこには、他校と比べ、図書室の位置と生徒の読書量との関係に特徴があるのだとありました。いわく、「理由は単純でした。子どもたちが校舎に入ると、目の前に図書室があるのです。『本と出あう環境』をつくるのが大事なのです」と。



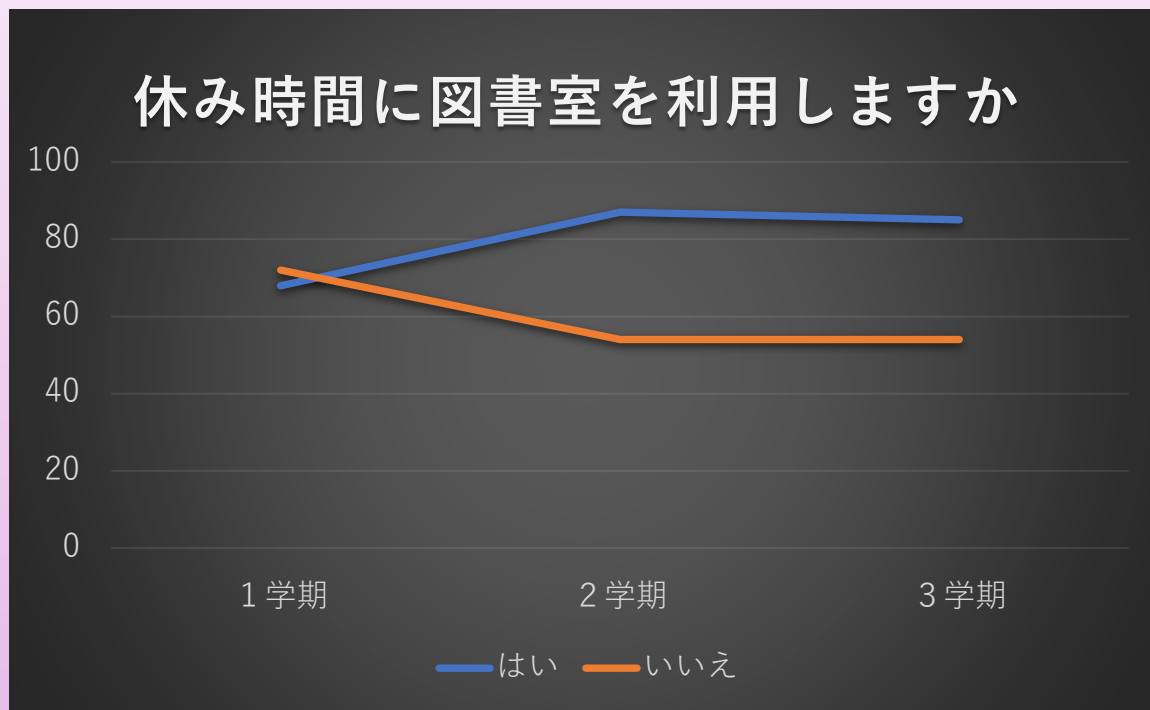
今月9日で「読書『週間』」は終わりましたが、「読書『習慣』」はこれからも続きます。ちなみに、「子ども読書週間」というのが別に決められていて、毎年4月23日～5月12日だそうです(タイトルが今年の標語です)。大人も子どもも「知恵の宝庫」の扉を開くきっかけに、「本と出あう環境」をつくってみませんか。

子どもを本好きにするにはどうしたらいいかー

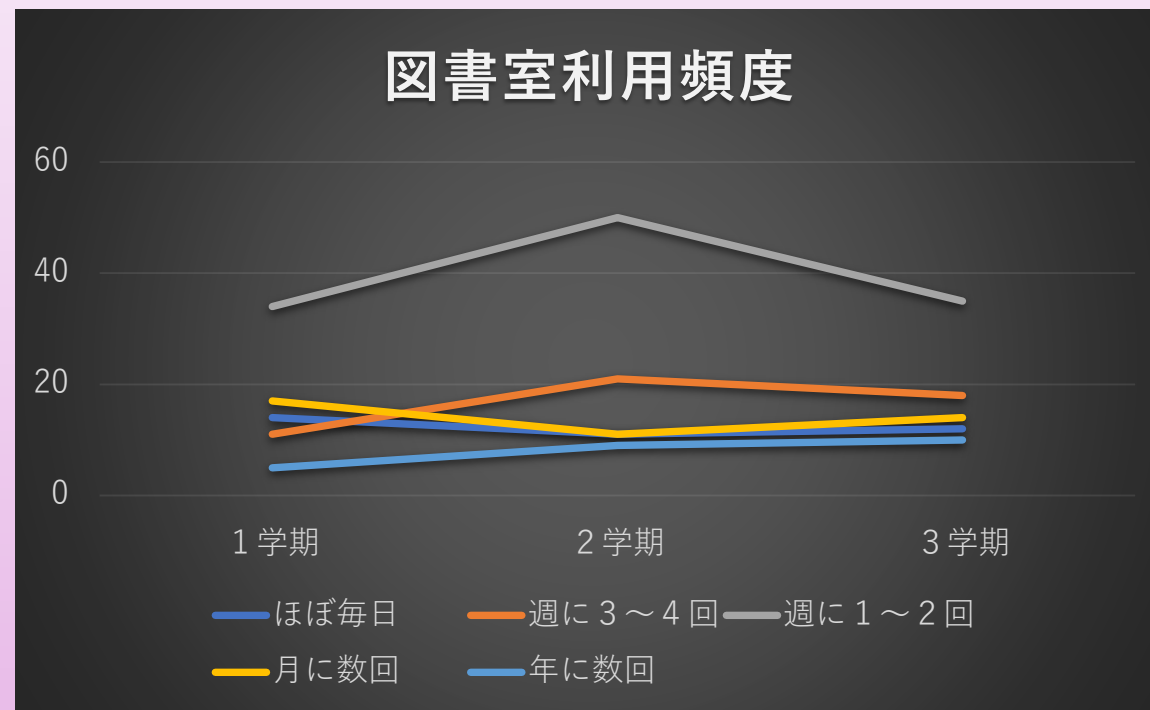
この問いに東京子ども図書館名誉理事長の松岡享子氏は、『生活の中に本があること』『大人が本を読んでやること』の二つであると語ります。「うちの中に本があり、親が本を読んでいる姿を見る。それが子どもには、本への第一歩です」と。

現代は夜がなくなつたと言われます。携帯やパソコン、ゲームなど、夜の時間を消費できるものがいくつもあります。子どもたちの周囲に娯楽があふれる時代だからこそ、大人が読書の喜びを伝え、率先して本に触れることが大切だと思います。

読書アンケート結果①

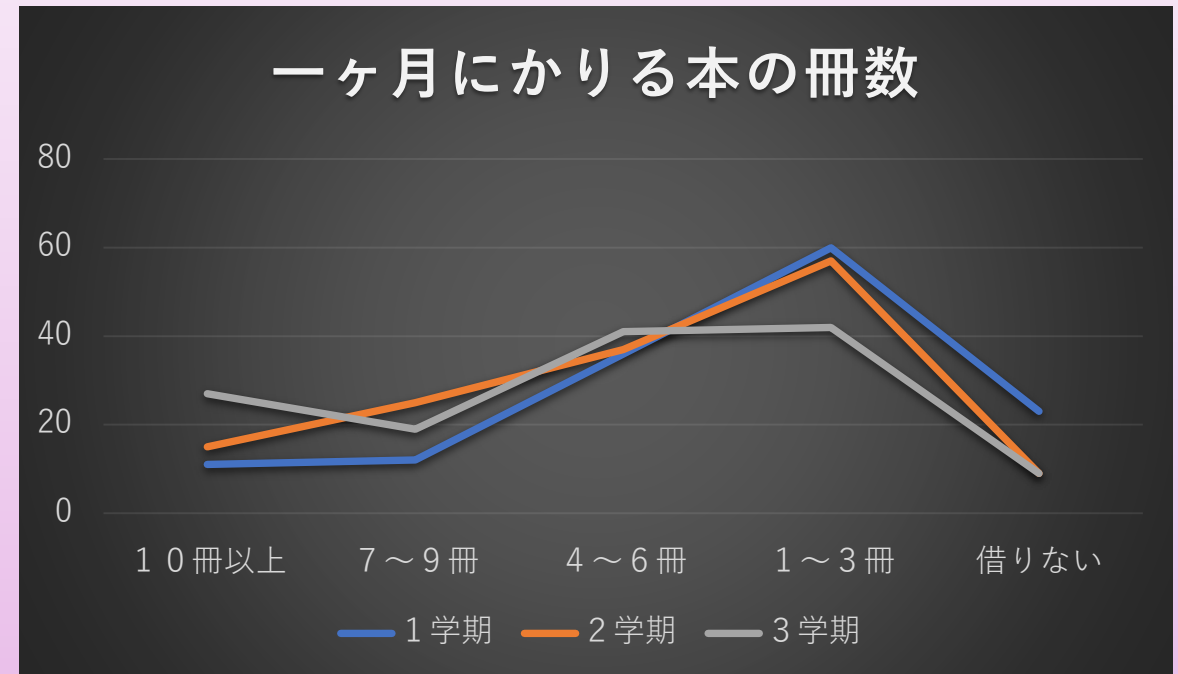
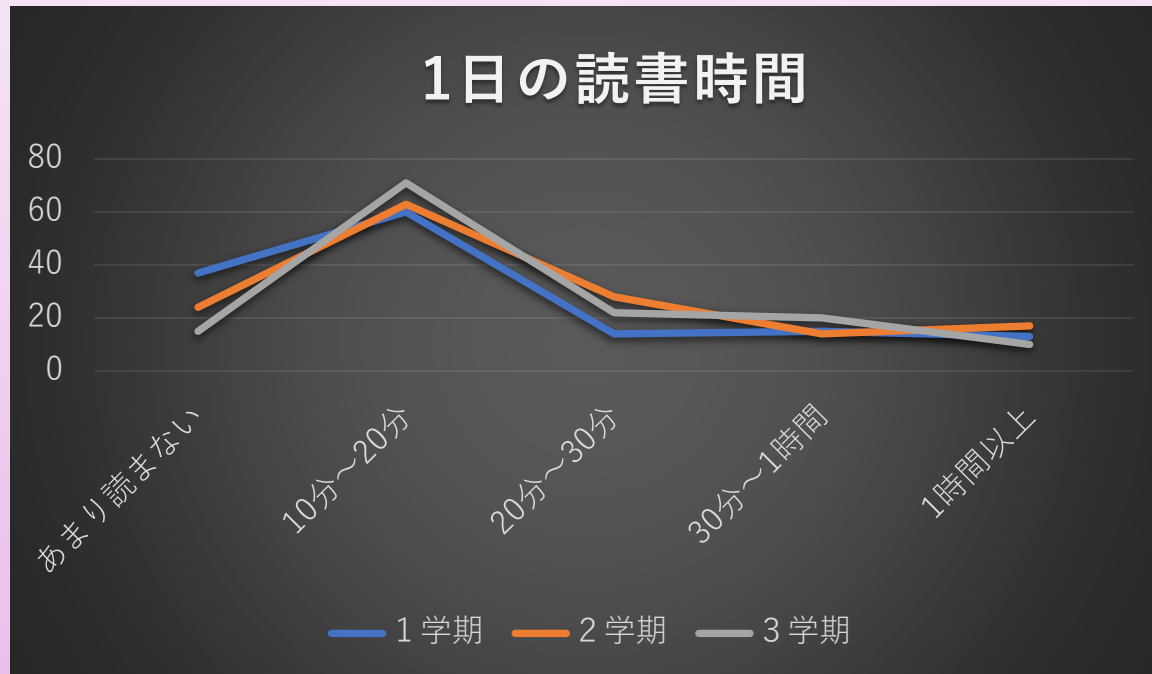


利用が20人ほど増加



毎週利用する児童が増えている

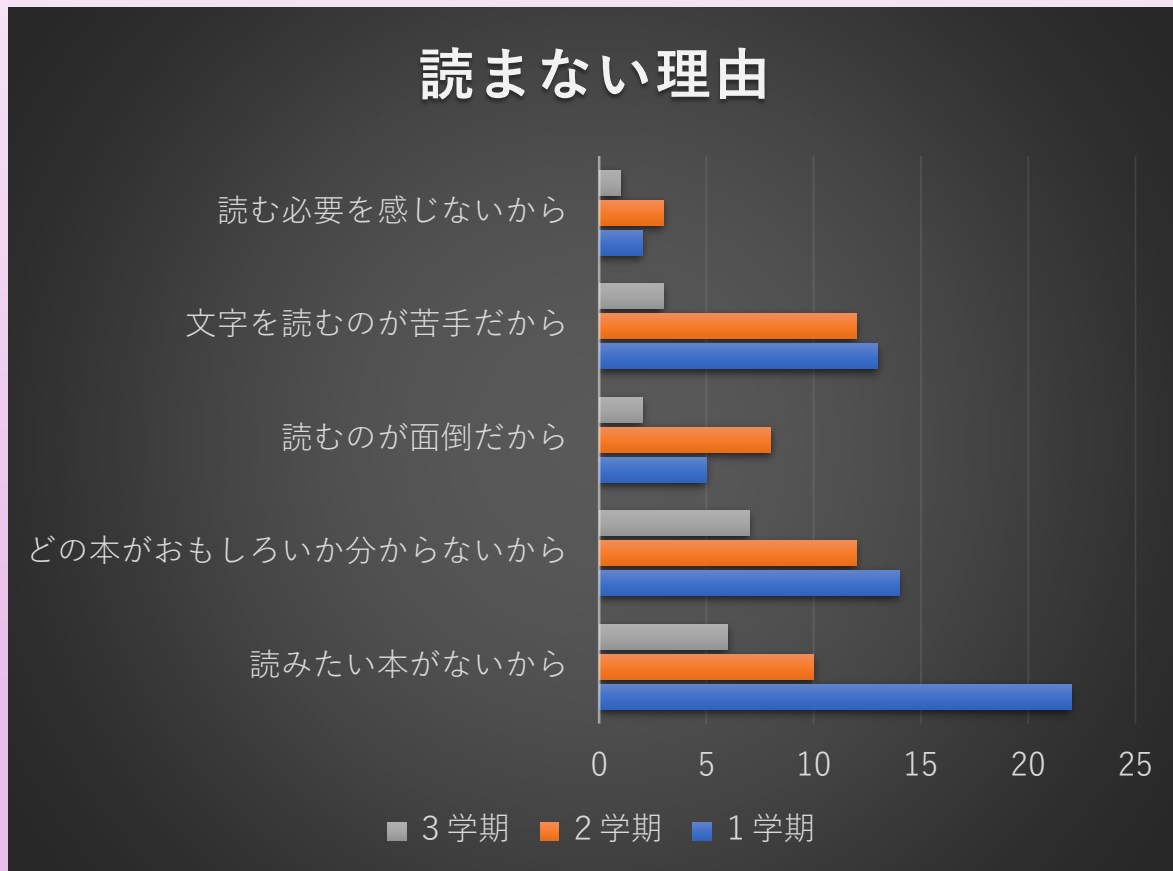
読書アンケート結果②



「あまり読まない」層が減少し、特に「10分~20分」が増え、底上げができた。

月に10冊以上 = 1週間に2冊程度を読む児童が増えた

読書アンケート結果③



「読みたい本がない」 → 減少

- 蔵書数が増え、いろいろな本を選べるようになった

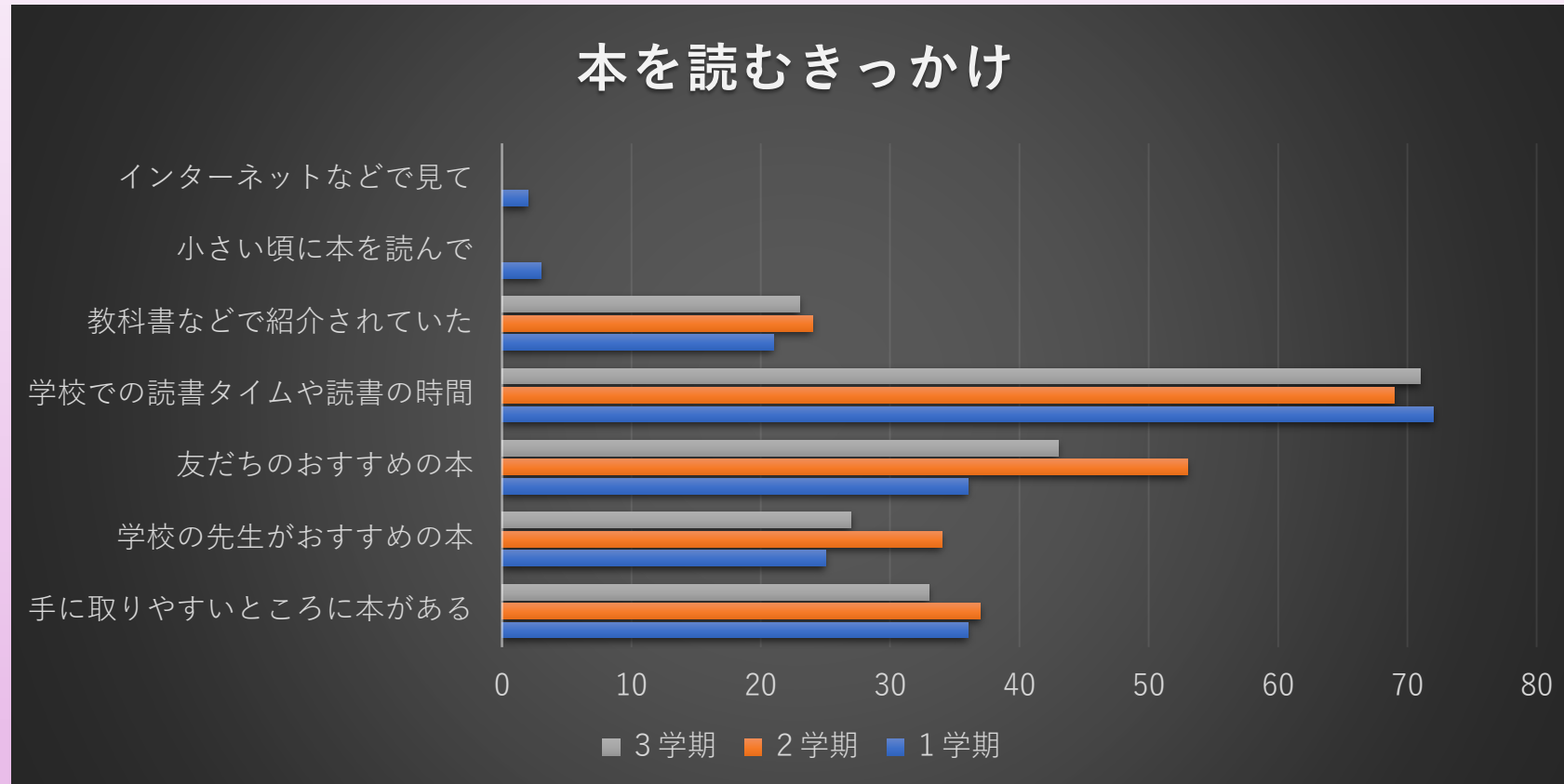
「どの本がおもしろいか分からない」 → 減少

- 「おすすめの本カード」などの選書資料がある

「文字を読むのが苦手」 → 減少

- 読み聞かせなどで、本に親しむようになった

読書アンケート結果④



「学校での読書タイム」が一番多く、
「友達のおすすめの本」の人数が増えた

3 成果

☆読書時間が増加

- 「おすすめの本カード」の掲示・交流
- 読書環境の充実
 - ・定期的な本の入れ替え
 - ・本の展示方法の工夫 など
- 読書に関するイベントの企画

☆「国語がすき」の増加

4 今後の方向性

○読解力向上へ

→ 「読む」質の向上と文章に表す力

○外部人材の積極的活用

(司書・ボランティア等)

○学校図書館の環境改善

5 おわりに

2月17日「電子書籍の日」

読書 紙のみ 53% 紙と電子 40% 電子のみ 4%

「栄養を与えるほど木は大きく育つ。同じように魂にも『滋養』を与えることである。そのためには読書である」

「読書は知識や情報を得るためだけのものではない。人間をつくり、人生を豊かにするものである」



● 苑田野小学校

ご清聴ありがとうございました